

「主にささげる24時間」について

教皇様は、四旬節中第4主日の直前の金曜日夜から翌土曜日夜の24時間を特別な祈りの時間として定められ、各小教区でも可能な範囲でこの「主にささげる24時間」に取り組むように推奨されています。つきましては、東京教区の勧めもあり、当教会でもこの祈りを行うことになりました。（聖木曜日の聖体安置式後の礼拝と同じです。）

信徒の皆様におかれましては、各自都合のよい時間に教会を訪れて礼拝をしていただければと思います。

また、聖堂内には可能な限り必ず誰かがいる状態（**御聖体のお守り**）にしたいと思いますので「お守り」に御協力できる方はその時間を右の表にお名前をお書きください。

記

日時 3月10日(土)6:50の朝ミサ後～17:30

（朝ミサ後より御聖体を顕示し、17:00にロザリオ[苦しみの玄義]を唱え聖体賛美式で終了）

内容 各自、教皇様の「四旬節のメッセージ」等を読む。
（靈的読書も含む） 祈り・黙想をする等。

御聖体のお守り時間	お名前
7:30～ 9:00	
9:00～10:00	
10:00～11:00	
11:00～12:00	
12:00～13:00	
13:00～14:00	
14:00～15:00	
15:00～16:00	
16:00～17:00	

※ 「御聖体のお守り」とは聖堂内に必ず誰かが御聖体と一緒にいて、礼拝する人が絶えないようにすることです。(かつては聖木曜日に徹夜で行われていました。)